

ROKIN : DISCLOSURE

2019



北海道労働金庫 ディスクロージャー誌



〈ろうきん〉は あたたかな“環(わ)”から生まれた はたらく人の夢と幸せをかなえる 生活応援バンクです。

〈ろうきん〉は、はたらく人たちがお互いを助け合う、あたたかな“環(わ)”から生まれた“はたらく仲間の金融機関”です。その基本とする姿勢も、社会的な役割も、暮らしに役立つ商品やサービスも、すべてがはたらく人の生活の視点から発想されたものです。

〈ろうきん〉は、ビジョンとして「会員・地域・利用者とのつながりによる『しあわせの循環』の創造」を掲げ、はたらく人たちの夢をかなえる金融機関＝生活応援バンクであり続けたいと考えています。

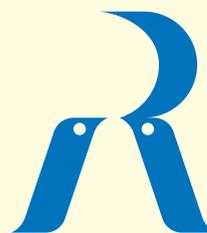


北海道ろうきんの概要

名 称	北海道労働金庫
所 在 地	札幌市中央区北1条西5丁目
設 立	1951年5月19日
代 表 者	理事長 工藤 和男
常 勤 役 職 員 数	735人
店 舗 数	37店舗（出張所・仮想店舗含む）
出 資 金	3,258百万円
団 体 会 員 数	2,712会員
間 接 構 成 員 数	393,753人
預 金 残 高	987,437百万円
貸 出 金 残 高	711,667百万円
自 己 資 本 比 率	8.84%
リ ン ク 管 理 債 権 比 率	0.60%

※各種数値は2019年3月末現在

シンボルマーク



〈ろうきん〉のシンボルマークは、ROKINの頭文字のRをデザインしたもので、同時に鳥の親子を表しています。鳥の親子は、親しみやすさを表すとともに、愛とやさしさ、親から子へと引き継がれる労金運動を意味し、はばたく鳥は、より発展する〈ろうきん〉の飛翔を表現しています。シンボルマーク・カラーはブルーです。〈ろうきん〉ブルーは「知性」「未来」「希望」を表現しています。シンボルマークには、〈ろうきん〉の基本理念が表現されています。



ごあいさつ

理事長 工藤 和男

平素より、私ども北海道労働金庫に対して、格別のお引き立てを賜り、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

昨年9月に発生した北海道胆振東部地震は、道内に大きな被害を及ぼしました。長引く避難生活など、未だ多くの方が不自由な生活を強いられています。被災された方々が、一日も早く平穏な生活を取り戻せるよう心よりお祈り申し上げます。

さて、日本および北海道の経済は、緩やかな持ち直しの動きを維持しているとされているものの、個人消費の一部に弱めの動きがみられているなど、先行きについては若干の不透明感がある状況にあります。また、当金庫を含む地域金融機関を取り巻く環境においても、低金利環境の長期化や人口減少などの構造要因により、預金・貸出金業務の基礎的収益力が低下を続けているといわれています。

このような環境下で遂行してきた2018年度は、長期ビジョン(～2024年度)・中期経営計画(2018～2020年度)の初年度として、長期ビジョンとして掲げた「会員・地域・利用者とのつながりによる『しあわせの循環』の創造」に向けて事業活動を進めました。その結果、会員・推進機構と一体となった運動展開や預金・貸出金等の計数実績において計画水準を超過する成果を上げることができました。一方で、不祥事件の発生により、会員・利用者の皆様にご心配とご迷惑をお掛けする事態となりました。よって、現行中期経営計画の中間年度となる2019年度は、内部管理態勢並びに法令等遵守態勢が実効的に機能する組織風土の構築を経営の最重要課題と位置付け、各種取組みを進めていく所存です。

2018年度の取組みの一端をご紹介させていただくと、現行中期経営計画のキーワードである「つなぐ」活動の実践として、会員・推進機構と一体となった「ろうきん運動・取引拡大プロジェクト(つなぐプロジェクト)」を展開しました。本プロジェクトは、ろうきん運動を分かりやすい「件数」目標で見える化し更なる活性化を図ることを目的としており、「件数」実績に応じて地域の社会福祉団体等への寄付を行い、結果として「会員」と「地域」との「つながり」の実現に寄与するというものです。改めて、会員・推進機構のご支援とご協力に感謝申し上げ、引き続き、皆様と想いを共有しながら各種取組みを進めてまいります。

なお、今年、創設100周年を迎えたILO(国際労働機関)は、日本の労働金庫モデルについてのレポート「日本において70年にわたり勤労者の金融アクセスを強化することで、包摂的な社会を構築してきた取組み」を作成し、本年3月に公表しました。本レポートは、労働組合と労働金庫が、働く人々、特に金融アクセスの困難な人々のアクセス改善にどのように取り組んできたか、その70年に及ぶ日本における経験を紹介しています。また、目まぐるしく変化する仕事の世界や労働運動の現状を背景に、仕事の未来やSDGs達成において労働金庫が果たす役割についても言及されています。

また、時を同じくして労働金庫業態は、3月に「ろうきんSDGs行動指針」を策定・公表し、業態をあげてSDGs(持続可能な開発目標)に取り組んでいくことを宣言しました。このSDGsのスローガンである「誰一人取り残さない」や、全ての人々が必要な金融サービスにアクセス・利用できるという「金融包摂」の考え方は、ろうきんの設立経過や理念・ビジョンと合致するものと考えます。当金庫の事業がSDGsの達成につながっている、貢献しているということを再確認し、SDGsの達成に向けた取組みを展開していきます。

ここに、当金庫の経営方針や事業の状況をご案内するために、「北海道労働金庫ディスクロージャー誌2019」を作成しました。多くの皆様にご高覧いただき、当金庫に対するご理解をより一層深めていただければ幸いです。

2019年7月

ごあいさつ	1
ろうきんの理念	
ろうきんの理念と基本姿勢	2
北海道ろうきんの概要	
2018年度業績ハイライト	4
長期ビジョン(～2024年度)・中期経営計画(2018～2020年度)の概要	6
2019年度事業計画	8
社会的責任と貢献活動	9
トピックス	14
北海道ろうきんの健全性・安全性	15
リスク管理体制	16
コンプライアンス(法令等遵守)態勢	19
お客様本位の業務運営に関する取組方針・取組状況	22
業務の適正を確保するための体制・運用状況(内部統制システム)	24
営業のご案内	
預金商品・資産運用商品のご案内	26
融資商品等のご案内	28
各種サービス・業務のご案内	30
主な手数料一覧	32
プロフィール	
北海道ろうきんの組織	34
あゆみ	35
ネットワーク	
北海道ろうきん店舗一覧	36
北海道ろうきん自動機一覧	38
財務データ	
財務諸表	40
資産内容の開示	45
経営指標	48
預金に関する指標	49
貸出金等に関する指標	50
有価証券に関する指標	51
その他業務	52
出資金・常勤役員一人当たり一店舗当たり預金・貸出金	53
連結情報	54
自己資本の充実の状況	59
索引	
開示項目一覧	69